

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 西内望智  
所属 (School) 現代システム科学域環境システム学  
類  
学年 (Grade) 3年

留学先 (Name of overseas institution)  
マレーシア工科大学  
留学期間 (study abroad period)  
約3カ月

## 留学レポート Study Abroad Report

(府大でこれから海外留学を考えている学生へのアドバイスも含め、あなたの留学体験談を書いて下さい。英語でも日本語でも OK。写真挿入も可能です。)

私はマレーシア工科大学に府大で初めての交換留学生として行きました。そのためマレーシアに行くまでのビザの申請方法、そして行ってからの寮や授業の申請方法などわからないことばかりでした。またマレーシアというお国柄もあって、日々の生活でも日本のように時間や段取りが全て決まっているわけではありません。しかしそのような環境だからこそ、自分からわからないことは聞く、自分の要望はしっかり伝えるということが徐々に習慣になっていきました。

留学に行けば一日中英語を話せると思うかもしれませんが、実際はそうではありません。特にマレーシアはマレー系の人にはマレー語を、中華系の人には中国語を話します。日常的に聞こえてくるのは英語ではありません。自分から積極的に色々な人に話しかけていかないと英語を話す機会も毎日たくさんあるわけではありません。私は毎日授業以外の時間はできるだけ現地学生と話すようにしていました。また現地の学生とたくさん話すことで、マレーシアの文化や政治、経済、宗教についてたくさん新しいことを知ることができました。

またマレーシアという英語が第一言語ではない国に行くことで、英語が話せるということの考え方が変わりました。他の国からの留学生とも話すなかで、常に正しい文法、発音で話す人なんていないということがよくわかりました。多少間違っていることも、相手の話していることはわかり、私の言っていることも理解してもらえます。ネイティブスピーカーだけが英語が話せる人ではないと思うようになると、英語で話すことに対するプレッシャーがなくなりました。

言いたいこと全てを不自由なく英語で言えるわけではありませんが、3カ月間毎日英語を使い、わからないことも一人で解決してきたことは大きな自信になりました。マレーシアに行ったことで、発展途上国に関わる仕事がしたいと思うようにもなりました。留学で得られるものは語学だけではないと思います。留学した人それぞれに価値のある経験が得られると思います。これから留学を考えている人には、是非マレーシア工科大学にも興味を持ってほしいと思います。